

2013年度 第1四半期連結決算概要

1.2013年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収減益：増収は4期連続、減益は2期ぶり。  
売上高は歴代1位(これまでの過去最高は12年)。

ガス販売量	Δ109百万m <sup>3</sup>	:気温影響による家庭用需要減 :発電用ガスをトーリング契約へ変更したことによる(Δ198)工業用需要減
売上高	+310億円	:家庭用需要落ちこみも、原料費調整により都市ガス売上は160億円増 :LNG販売等のその他エネルギー売上高43億円増
営業費用	+368億円	:ガス原材料費が円安影響等により200億円増(当期2,069←前期1,869) :LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用が増
営業外損益	Δ40億円	:為替差損益Δ19億円(当期Δ12←前期7) :専用設備料収入Δ20億円(当期5←前期25)
特別損益等	+3億円	: (当期) なし : (前期) 関係会社株式売却益35億円、投資有価証券評価損Δ38億円

<13年6月末現在連結会社数:連結子会社69社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

	13年度1Q	12年度1Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	3,387	3,496	Δ 109	Δ 3.1
(参考)トーリング込ガス販売量(※)	3,711	3,619	92	2.5
売上高	4,736	4,426	310	7.0
営業費用	4,336	3,968	368	9.3
営業利益	399	458	Δ 59	Δ 12.8
経常利益	396	495	Δ 99	Δ 20.0
当期純利益	260	317	Δ 57	Δ 18.1

(※)トーリング契約：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
13年度1Q	98.78	107.73	17.5
12年度1Q	80.18	122.55	16.4

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものを。

(2)ガス販売量

		13年度1Q	12年度1Q	増減	%		
ガス販売量	お客さま件数	千件	10,995	10,874	121	1.1	
	家庭用	百万m <sup>3</sup>	837	895	Δ 58	Δ 6.5	
		業務用	百万m <sup>3</sup>	600	608	Δ 8	Δ 1.4
		工業用	百万m <sup>3</sup>	1,483	1,525	Δ 42	Δ 2.7
	計	百万m <sup>3</sup>	2,083	2,134	Δ 51	Δ 2.4	
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	466	467	Δ 1	Δ 0.2	
合計	百万m <sup>3</sup>	3,387	3,496	Δ 109	Δ 3.1		

家庭用 :4月分から6月分の気温が前期と比較して高く推移した影響による給湯需要減  
 業務用 :4月分の気温が前期と比較して高く推移した影響による給湯需要減  
 工業用 :幹線開通に伴う新規需要の開発及び発電用需要の増があるものの、トーリング影響(Δ198)による減  
 他事業者向供給 :供給先事業者の需要減

(3)セグメント別売上高・セグメント利益(対前期)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	13年度1Q	12年度1Q	増減	%	13年度1Q	12年度1Q	増減	%
都市ガス	3,445	3,285	160	4.9	435	481	Δ 46	Δ 9.6
器具及びガス工事	423	424	Δ 1	Δ 0.3	6	4	2	34.0
その他エネルギー	794	751	43	5.7	35	28	7	23.8
(電力)	285	270	15	5.4	27	17	10	57.2
不動産	73	75	Δ 2	Δ 2.1	16	16	0	Δ 4.7
その他	405	450	Δ 45	Δ 10.1	6	29	Δ 23	Δ 79.6
(海外)	37	28	9	35.4	3	22	Δ 19	Δ 84.9
調整額	Δ 406	Δ 561	155	-	Δ 100	Δ 104	4	-
連結	4,736	4,426	310	7.0	399	458	Δ 59	Δ 12.8

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

	13年度1Q	12年度1Q	増減		13年度1Q	12年度1Q	増減
設備投資	803	406	397	D/Eレシオ	0.79	0.69	0.10
営業キャッシュ・フロー	584	647	Δ 63	ROA	1.3	1.7	Δ 0.4
有利子負債	7,262	6,425	837	ROE	2.8	3.7	Δ 0.9

(注)有利子負債、D/Eレシオは13年3月末との比較

2.2013年度 通期見通し <対前回(4.26)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回減収も利益は変更なし(対前期は増収減益(当期純利益ベース))

ガス販売量	:発電用需要を中心とした工業用需要の減少、および気温影響による家庭用需要の減少によりΔ1.3% なお、減少は現時点までの状況のみ反映し、7月以降は変更なし
売上高	:電力事業の増収がある一方、ガス販売量減による都市ガス事業の減収により200億円減少の見通し
営業費用	:主に都市ガス原材料費の減少により200億円減少の見通し
営業利益	:ガス粗利は減少するも、電力販売収支の改善等により、当初計画通りの見通し 前提となる経済フレームは変更なし(7月以降為替レート100円/\$、原油価格110\$/bbl)

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	12年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	14,590	14,781	Δ 191	Δ 1.3	15,390	Δ 800	Δ 5.2
(参考)トーリング込ガス販売量	16,083	16,273	Δ 190	Δ 1.2	15,986	97	0.6
売上高	20,960	21,160	Δ 200	Δ 0.9	19,156	1,804	9.4
営業費用	19,350	19,550	Δ 200	Δ 1.0	17,700	1,650	9.3
営業利益	1,610	1,610	0	-	1,456	154	10.6
経常利益	1,550	1,550	0	-	1,474	76	5.1
当期純利益	1,010	1,010	0	-	1,016	Δ 6	Δ 0.7

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
13年度	99.70	109.43	16.8
12年度	82.91	113.88	16.6

為替・原油変動影響感度(通期)	売上高	原料	粗利
円・ドルレートが¥1/\$円安	71	85	Δ 14
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	40	47	Δ 7